

令和 4年度 第2回 大阪市立 学校園 学校協議会 実施報告書

校 園 名 大阪市立十三中学校

校 園 長 名 屋 島 豊 市

日 時	令和 4年12月7日(水) 19時30分～20時40分(1時間10分)	
場 所	十三中学校 1階 ミーティングルーム	
出席者	委員など	大西みつる、中村隆樹、内野誠之、西 美紀、乾 憲一
	校 園	校長屋島豊市、教頭谷村道
	区役所	岡田課長代理(十三地域担当)
議 題	1. 挨拶 2. 「令和4年度 運営に関する計画」中間報告について 3. 制服リニューアルについて 4. 淀川区の取組について 5. 質疑応答	
協 議 要 旨	協議の結果	意見の概要
	1 屋島校長挨拶	生徒の成績処理を行っている。新型コロナウイルス感染症はある程度落ち着いている。日頃の地域のみなさんの本校教育活動への御理解に感謝するとともに、対面による取り組みが実施可能になってきている状況である。
	2 「令和4年度 運営に関する計画」中間報告について 谷村	司会の大西委員長より、「令和4年度 運営に関する計画」中間報告を聞いてから、参加者が質問や助言をするようにと会議の運営の流れの方向性が示され、谷村委員より以下の説明が行われた。 ・いじめ対応の全教員アンケートは、2月に報告予定。 ・生徒のメンタルヘルスの安定に取り組んでいる。ヤングケアラー、育児放棄、面前DV、自傷行為等、社会問題となっている事案が本校において、リアルタイムで発生している。子どものSOSを受け止められるよう、教職員及び生徒自身に対して研修を行っている ・防災減災教育の推進が不十分である。震災に対する危機意識が低く、従来とおりの避難訓練から、現実在即した、生き残るための訓練が必要だと感じている。まずはマニュアルの見直しからは始めている。 ・大教大との連携でポジティブ行動支援の研究校2年目となり、生徒の学校生活の満足度について、Q=Uアンケートによる分析からエビデンスを用いて教員が子どもに教育相談や支援を行っている。 ・道徳教育の充実に取り組んでいる。カリキュラムマネジ

		<p>メント及び評価について、主任が取りまとめて組織的に実践へと導いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な生き方について学ぶ、人権教育の取り組みとして、車椅子ダンスの鑑賞や、藤原直さんを講師に LGBTQ 研修を生徒及び教員に実施した。その後、カミングアウトをした生徒が複数出現した。それによって、多目的トイレの必要性や、体育の更衣や宿泊学習の入浴など、いままで考えてこなかった人権への配慮について、日々教員間で相談することとなった。このことをきっかけとして、R 6 年度制服改定へと舵を切った。 ・本校は通常学級の生徒に対する特別支援学級の生徒の割合が高く、1 学級 43 人という学級編成となっている。実質は通級に該当する生徒が複数名いる。R 5 年度は、特別支援学級と通常学級および通級学級の開設により、本校が大阪市の通級指導のモデル校としてインクルーシブ教育に取り組む。 ・外国籍生徒が増加し、日本語支援が急務となっている。同時に当該生徒のアイデンティティの確立のためにも母文化や母語を尊重していく。 ・学力の向上について、英語科の教員が模範となり、毎月研究授業を実施している。I C T 支援員が配属されているものの、対面とオンラインの両方の準備は教員に負担がある。 ・英検は 2 級受験の生徒が 2 人。意識の高い生徒もいる。市教委予算で 2 年生全員の受験を実施する。 ・全市共通テスト等の分析によると、国語科の「情報の使い方に関する事項」および数学科「データ活用」領域は伸びている。 ・運動時のマスク着用について、生徒はマスクを外すのに抵抗があり、顔を出すことに慣れていないため、恥ずかしがる傾向がある。コミュニケーション力の低下も気になるところである。
3	制服リニューアルについて	<p>谷村委員より、以下の説明。令和 2 年度から制服改正に向けて準備は進めていたが、L G B T Q の生徒が存在している現状から、制服改定に拍車がかかった。業者選定を公正に行う目的で広く公表せず、制服業者大手 4 社に絞って、プレゼンテーションを教職員向けに実施（1 / 23）し、1 月末までに業者を選定する。決定次第、保護者や地域に説明していきたい。</p>
4	淀川区の取組について	<p>岡田課長代理よりお知らせ。 冬休み子ども相談は具体的に① 1 / 5（木）淀川図書館 2 階、② 1 / 6（金）淀川区役所 5 階、両日 10:00～16:00 で開催。</p>
5	質疑応答	<p>中村委員より以下の感想。 学校の現状について聞くことができた。いじめなど SNS 関連の解決策がはっきり示せない問題も多く、大変だと思うが頑張っていたきたい。</p>

		<p>自分たちの時代には、存在していただろうが、問題として挙がってこなかったLGBTQなど、新たな課題には専門家の知識も借りながら力を入れて欲しい。</p> <p>乾 憲一委員より、制服改定がLGBTQの生徒の存在と関係しているとは驚いた。実際に、どのような状況か教えてほしいという意見。</p> <p>谷村委員より回答。藤原直さんご自身が女性でありながら自身の性に対する違和感を持ち、カミングアウトした経緯を赤裸々に語った。11人に1人がLGBTQという現実、子どもたちは他人事でなく性の多様性に対してわがごととして受け止めるようになり、自分の身の回りや自分自身について、深く考えるようになった。そして、担任や顧問に相談する生徒が出てきた。</p> <p>乾委員より、学校ではどういった対応をしていかにという質問。</p> <p>屋島校長より回答。 教員は悩みを持つ生徒本人の苦しみに寄り添えるように努めている。LGBTQをカミングアウトしている生徒は女子生徒の方が多く全市的な傾向である。 親には言わないで欲しいというケースもある ジェンダーフリー対応として制服の改定をとらえている。LGBTQに配慮した制服を各企業に提案してもらうよう求めている。 カミングアウトした生徒へのいじめは生じていないが、心の中で何らかの思いを持っている生徒はいるだろう。 該当生徒については女子であるが学ランの着用を認め、多目的トイレの使用や体育の更衣は別室対応、一泊移住などの入浴も別にするなどの措置をとっている。教師よりも生徒のほうが柔軟に認め合っている。しかし、不用意な言動によって傷つくこともある。</p> <p>西委員より、大阪市立中学校で私服の中学校はあるかという質問。</p> <p>屋島校長回答。 少数あるが、毎日着る服を考えるため私服は大変という意見がある。</p> <p>大西会長より、第1回協議会で出た多目的トイレはどのようなになっているかという質問。</p> <p>屋島校長より 西館各階に多目的トイレがある。本館は令和6年度には各階に多目的トイレを設置予定。南館は1階に多目的トイレ設置の予算化が叶った。岡本区長にも尽力いただいた。</p>
--	--	---

		大西会長より 働き方改革や、ICT 化の中で日々奮闘している教職員に感謝し、引き続き協力していきたい。学校協議会メンバーでグループラインをつくって情報共有を図りたい。
協議資料	<学校配付資料> 令和 4 年度運営に関する計画中間報告 令和 6 年度制服リニューアル資料 <区配付資料> ◆令和 4 年度 第 2 回 区役所からのお知らせ	
備考	傍聴者[0]名	